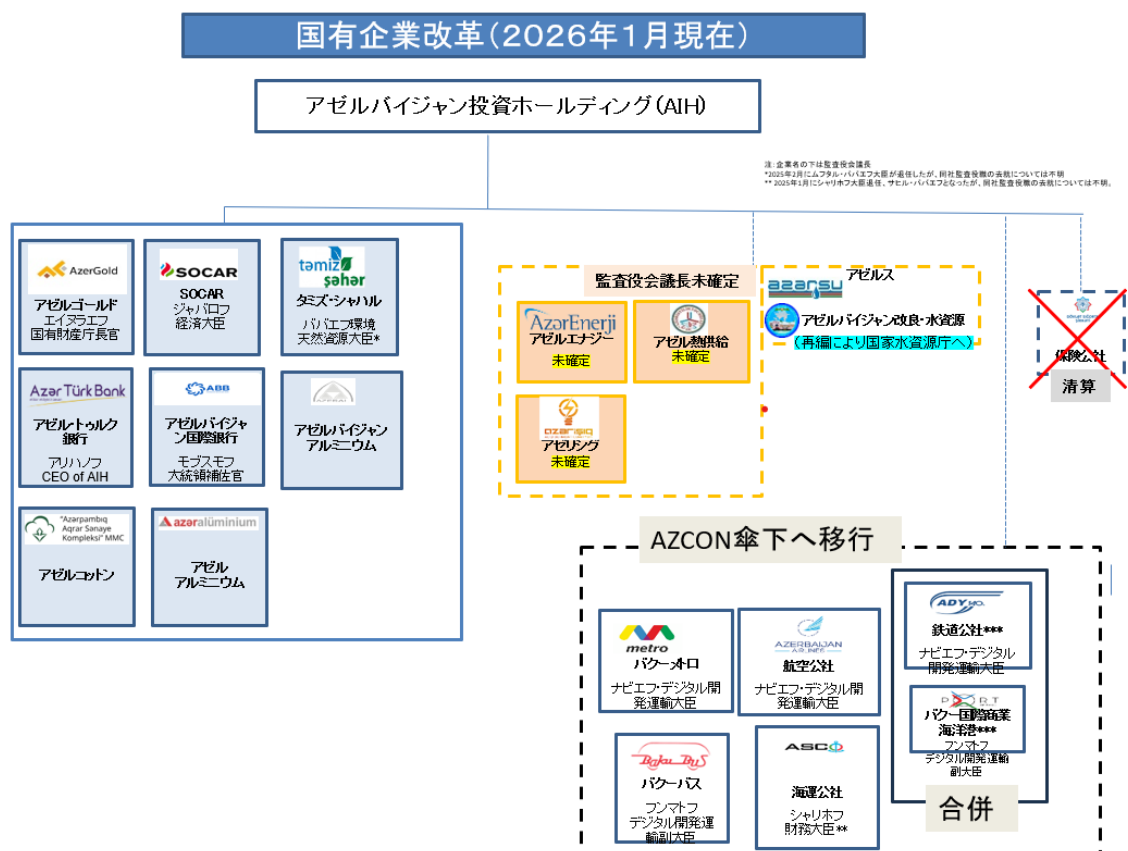


アゼルバイジャン投資ホールディング(AIH)の現状(2026年1月時点)

今回は経済トピック 17 号、30 号及び178号でも紹介したアゼルバイジャン投資ホールディング(AIH)の現状についてお知らせします。AIHは主要国有企業21社(その後22社に拡大)をその傘下に置くという大統領令に基づき2020年に設立され、各社経営トップの上に監査役会(議長は閣僚等)を設置することとなっています。

その後、2024年1月に国営保険会社は清算・消滅、交通運輸・通信関係の会社は2024年11月に「アゼルバイジャン交通通信ホールディング(AZCON)」傘下に移行(178号参照)、2025年2月には鉄道公社とバクー国際商業海洋港が合併、同年4月にアゼルバイジャン・アルミニウム、アゼルアルミニウム、及びアゼルコットン社が新たに AIH に加わりました。同社の監査役会議長は指名されていないようです。

図1. アゼルバイジャン投資ホールディング傘下の国有企業



(以上)